

2023年9月号(328号)



「SDGs Aichi Expo 2023」を開催します(P2)



「第53回愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しました(P5)

 A colorful poster for the 10th Sanu Bay Big Thank You Festival. The main event is on 2023/10/14 (Sat) from 10:00-16:00 at LaLaGran. It includes a satellite event at Shirogahama Park. The poster lists various activities like "Eat and learn about Sanu Bay", "Learn about Sanu Bay", and "Touch Sanu Bay". It also features a schedule table, a map, and a QR code.
 

会場	9:00	13:00	9:30	13:30
三河湾新幹線	10:00	14:00	10:30	14:30
白谷海浜公園	11:00	15:00	11:30	15:30
	12:00	16:00	12:30	16:30

「第10回三河湾大感謝祭」を開催します(P3)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは  
こちらから→



今月号とバックナンバーを掲載しています。



# 「SDGs AICHI EXPO 2023」を開催します



SDGs の達成に向けた機運を高めるため、「SDGs AICHI EXPO 2023」を開催します。企業等によるブース出展やステージイベント、ワークショップなど、多数の企画を用意しています。

是非ご参加ください。

なお、ステージイベントはオンラインでも視聴できます。



## 1 日時

10月5日(木)～7日(土) 10:00～17:00

## 2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールA  
(常滑市セントレア5丁目10番1号)

## 3 主な内容

### (1) ステージイベント

10月5日(木)		
時間	内容	講演者等
10:00～10:05	開会挨拶	-
10:05～11:00	基調講演 「実感できる地方創生に向けて」	元衆議院議員・テレビコメンテーター 金子 恵美 氏
11:00～12:00	経営セミナー 「企業価値を高めるSDGs戦略」	法政大学教授 川久保 俊 氏 MS&AD インターリス ク総研(株) 藤田 嘉子 氏
12:00～13:00	特別講演 「ムーンショット型研究開発事業(目標4)の紹介」と「三重大学ブルーカーボンの取組」 presented by 住友商事グループ	新エネルギー・産業 技術総合開発機構 吉田 朋央 氏 三重大学 柴田 敏行 氏
13:00～14:00	パネルディスカッション 「愛知からはじめる『自然共生×地域活性化』」	環境省中部地方環境 事務所、愛知県環境 局、生物多様性の専 門家、自然共生サイ トに取組む企業
14:00～15:00	経営セミナー 「脱炭素社会における企業の経営戦略」	(株)ウェイトボツ クス 木塚 晴久 氏

10月6日(金)		
時間	内容	講演者等
10:00～16:00	「NIKKEI TOKAI FORUM」 日本経済新聞社名古屋支社主催	大村知事による講演 (10:00～10:15)の 他、有識者による講 演やSDGsの取組紹介 を実施

10月7日(土)		
時間	内容	講演者等
11:00～11:45	ダイバーシティシンプジウム 「外国出身の人たちと共に暮らす『多文化共生』ってどういうこと?」	(一社)DiVE. tv
12:00～12:45	お笑いステージ 「笑って学ぼう! よしもと SDGs ステージ」	サバナナ 八木 氏 ほか吉本興業(株)所 属芸人

(右段に続く)

10月7日(土)		
時間	内容	講演者等
13:10～13:55	「みんなで選ぶ『NPO アワード』」 愛知県民文化局社会活動推進課主催	NPOによる取組発表及び協賛団体からNPOへの寄附金贈呈 等
14:00～15:00	「エシカル・ファッションショー」	司会 原田 さとみ氏 (エシカル・ペネロープ)
15:15～16:45	「ユネスコスクール交流会」 愛知県教育委員会あいちの学び推進課主催	ユネスコスクール加盟校による取組紹介 等
16:45～17:00	エンディングセレモニー	出展者/来場者の投票による優秀ブース出展者の表彰 等

### (2) ブース出展等

- SDGsの取組を積極的に行っている100以上の企業等によるブース出展
- 楽しくSDGsの理解を深められるワークショップ
- 会場に設置したスタンプを集める「SDGsスタンプラリー」(記念品あり)
- 地産地消食品等の販売、キッチンカーによる軽食の販売



昨年度の様子

## 4 申込・参加方法

参加は無料ですが、公式サイトから事前の入場登録が必要です。詳細は公式サイトをご覧ください。

(<https://sdgs-aichi.com/>)

## 5 問合せ先

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局

((株)新東通信 内)

電話: 052-971-6233 (平日 10:00～17:00)

Eメール: [info@sdgs-aichi.com](mailto:info@sdgs-aichi.com)



〔環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕

## 「第10回三河湾大感謝祭」を開催します



愛知県では、三河湾の再生に向けた取組の機運を高め、多くの県民の皆さんに三河湾に関心を持っていただくため、10月14日（土）に田原市において、「第10回三河湾大感謝祭」を開催します。

1 日時 10月14日（土）10：00～16：00

2 場所 <sup>ララグラン</sup> LaLaGran（田原市田原町西大浜13-1）  
白谷海浜公園（田原市白磯5）

3 参加費 無料（一部有料の販売あり）

### 4 開催内容

- (1) <sup>ララグラン</sup> LaLaGran（メイン会場・三河田原駅前）
- ・岸壁幼魚採集家鈴木香里武さんと、竹島水族館小林館長の「三河湾環境トークショー」
  - ・さかな芸人ハットリさんの「お笑いライブ」
  - ・海洋ごみを使って制作した海洋ごみ楽器集団「ゴミンゾク」によるライブ演奏
  - ・豊橋うなぎおむすびの試食（500名分）

- ・各種団体による体験・展示ブース など
- (2) 白谷海浜公園（サテライト会場）
- ・赤羽根まちづくり隊による地引網体験と三河湾の生きもの解説（事前申込制）
  - ・三河湾産アサリのつかみ取り（200名分）
  - ・ウクレレ演奏とフラダンスショー など
- この他、両会場に三河産食材を扱うキッチンカーを配置します。

また、当日は会場周辺で「秋の汐川干潟自然観覧会」（事前申込制）及び、「JR東海さわやかウォーキング」も開催されますので、ぜひお越しください。

詳細はWebページをご覧ください。



第10回三河湾大感謝祭

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室  
三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

## 「中小企業向けあいち省エネセミナー」を開催します



愛知県では、県内の中小事業者を対象に、カーボンニュートラルの実現に向けたCO<sub>2</sub>排出量削減の取組を支援するため、省エネの取組事例や省エネ設備投資のための補助金制度などを紹介する「あいち省エネセミナー」を開催します。

会場とオンラインの同時開催となりますので、ご都合に合わせてご参加ください。

1 日時 10月18日（水）13：30～15：40

2 会場 深田電機（株）（県委託先） 本社  
所在地：名古屋市東区赤塚町28番地  
（名鉄瀬戸線 尼ヶ坂駅下車 徒歩12分）

3 参加費 無料

4 定員（事前申込制・先着順）

会場 50名

オンライン（ZOOM） 150名

- 5 内容
- ・愛知県の地球温暖化対策について
  - ・省エネの取組方法や事例について
  - ・補助金の活用について

### 6 申込方法

以下のWebページにアクセスし、参加申込フォームよりお申込みいただくか、参加申込書をダウンロードのうえ、FAX又はEメールにより10月11日（水）までにお申込みください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/syoene-seminar2023.html>)



※会場参加の方は、公共交通機関でご来場ください。

あいち省エネセミナー 中小事業者

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ  
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）

## 電気自動車を導入する個人への補助金の申請を受け付けています



愛知県では、再生可能エネルギーを使って発電した電力と電気自動車を活用し、走行時のCO<sub>2</sub>排出量がゼロとなる「ゼロカーボン・ドライブ」に取り組む個人を対象とした補助金の申請を受け付けています。

### 1 補助対象者

自ら居住し、又は居住予定である愛知県内の住宅に電気自動車、充電設備及び太陽光発電設備を一体的に導入する個人

### 2 補助対象設備

#### (1) 電気自動車

- ・普通自動車であること（小型自動車及び軽自動車を除く）
- ・外部給電機能を有する車両であること
- ・メーカー希望小売価格が1,000万円（税抜）を超えない車両であること等

#### (2) 充電設備

充電用コンセント又はコンセントスタンドであること等

#### (3) 太陽光発電設備

- ・太陽電池の最大出力が10kW未満であること
- ・FIT認定を取得しないこと等

### 3 受付期限

2024年1月31日（水）まで（必着）

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/zerocarbon-ho.jokin2023.html>)



愛知県 ゼロカーボン・ドライブ

検索

地球温暖化対策課 自動車環境グループ  
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

## 「あいちエコドライブキャンペーン」の参加者を募集しています



愛知県は、(一社)日本自動車連盟（JAF）愛知支部と共同で「あいちエコドライブキャンペーン」を実施しており、その参加者を募集しています。このキャンペーンは、エコドライブに関する動画の視聴後、アンケート内のクイズに答えることで、エコドライブの方法や効果を学び、実践につなげていただくものです。

この機会に、環境やお財布にやさしく、安全運転にもつながるエコドライブを身に付け、日々の生活に生かしてみましよう。

### 1 実施期間

12月31日（日）まで

### 2 参加の流れ

#### (1) キャンペーンWebページにアクセス

(<https://jaf.or.jp/common/area/2023/chubu/aichi/local-news/0522-01>)



#### (2) エコドライブについての動画を視聴

#### (3) アンケートのクイズに回答

#### (4) エコドライブを実践

### 3 記念品について

キャンペーンに参加いただいた方の中から、抽選で500名の方に、記念品（緊急時の脱出用ハンマーやシートベルトカッターが一体となったエマージェンシーキーホルダー又はタイヤの空気圧を測定できるタイヤゲージ）を進呈します。

愛知県 JAF エコドライブ

検索

地球温暖化対策課 自動車環境グループ  
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

# 「第53回愛知県野生生物保護実績発表大会」を 開催しました



愛知県では、野生生物や自然環境の保護・保全活動の普及啓発を目的に、1971年度から「愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しています。この大会は未来を担う子どもたちが、野生生物の保護や生物多様性の保全について、日頃から取り組んでいる活動の内容と成果について発表するものであり、子どもたちにとっても、それを聴く大人にとっても、非常に有意義な機会となっています。

第53回となる今回は、8月3日に刈谷市産業振興センターで開催し、小学校から高等学校までの計10校に発表していただきました。

各校の発表では、野鳥や魚、昆虫など様々な生きものの保全活動や生物調査など、地域の魅力や特性を反映したそれぞれに特色ある取組が紹介されました。そのなかでは、活動の中で出会う課題の解決に向けて、子どもたちが専門家や地域の様々な方々と連携して前向きに取り組んでいる様子がうかがえ、自然への大きな愛着が感じられました。参加された児童・生徒の皆さんには、未来の生きものサポーターとして、今後も継続的に活動を展開していただくよう期待したいと思います。

なお、発表後に行われた審査の結果、岡崎市立生平小学校、豊田市立滝脇小学校、愛知県立佐屋高等学校の3校が愛知県知事賞に選ばれました。

愛知県知事賞受賞校  
による発表の様子



岡崎市立生平小学校



豊田市立滝脇小学校



愛知県立佐屋高等学校

## 〈審査結果〉

愛知県知事賞	
岡崎市立生平小学校 <small>おいだいら</small>	守ろう！ 野鳥がすみ 続ける『ふるさと生平』
豊田市立滝脇小学校 <small>たきわき</small>	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
愛知県立佐屋高等学校 (愛西市) <small>さや</small>	愛西市内水路における 淡水性カメ類の生態と 行動特性
愛知県教育委員会賞	
岡崎市立河合中学校 <small>かわい</small>	河合の宝 ゲンジボタル ー伝統の継続 そして 一歩前進ー
愛知県立明和高等学校 (名古屋市東区) <small>めいわ</small>	明和高校周辺の生態調 査
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	
岡崎市立美合小学校 <small>みあい</small>	生田蛭は「美合の宝」 ～気付き 考え 実行 する ホタル飼育部～
豊田市立上鷹見小学校 <small>かみたきみ</small>	自然と人が共生する ふるさと“鷹見の里”を つくる
公益社団法人愛知県獣医師会賞	
岡崎市立東海中学校 <small>とうかい</small>	未来へつなぐ襷 ～東海の自然を次代に つなぐ～
学校法人高倉学園 豊橋中央高等学校 (豊橋市) <small>とよはしちゅうおう</small>	地域河川における生物 多様性の保全活動
愛知県立豊田西高等学校 (豊田市) <small>とよたにし</small>	産・学・公が連携した環 境改善事業 ～MORIBITO プロジェク ト～

愛知県野生生物保護実績発表大会

検索

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/53happyoutaikai.html>)



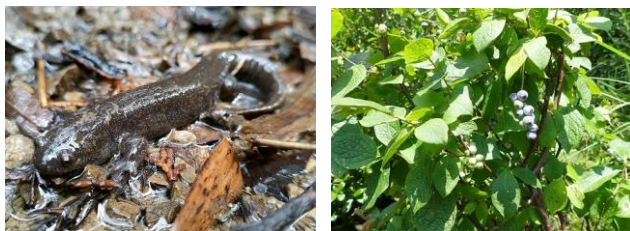
〔 自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン) 〕

## 豊橋総合動植物公園と希少野生動植物種の 保護保全に関する協定を締結しました



愛知県は、希少野生動植物種（以下「希少種」）の保護保全をより一層推進するため、7月12日に豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）と協定を締結しました。今後、県内において絶滅のおそれのある希少種の保護保全について相互に連携し、さらに効果的な取組を進めていきます。

なお、県がこのような協定を締結するのは、東山総合公園（名古屋市）、碧南海浜水族館（碧南市）に続き3例目となります。



〈連携して保全に取り組む希少種の例〉

左：ヤマトサンショウウオ 右：ナガボナツハゼ

### ○ 協定の内容

今回の協定では、希少種の保全に関する情報や技術の共有を図るほか、域内・域外保全の実施、専門的人材の育成などで連携することとしています。

#### 〈域内保全〉

希少種がもともと生息生育する域内で、その保全を図ることです。例えば、域内の高木を伐採して日当たりを回復することや、在来種を脅かす外来種等の除去などが含まれます。

#### 〈域外保全〉

生育地の環境改善に時間がかかる場合などに、避難措置として希少種を施設内で一時的に飼育・栽培することです。そのうえで、適切な時期に元の生息生育地に戻すことを目指します。

〔自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230（ダイヤルイン）〕

## 「東三河の水辺環境を親子で学ぶ夏休みエコツアー」 を開催しました



東三河総局環境保全課では、SDGsの観点から東三河地域の自然環境の保全と再生を目的とする「東三河自然再生推進事業」を実施しています。

今年度は事業の一環として、県指定天然記念物である「<sup>ながのやま</sup>長の山湿原（新城市）」と、近くを流れる矢作川水系の「<sup>ともえがわ</sup>巴川」で生物多様性について学習する「東三河の水辺環境を親子で学ぶ夏休みエコツアー」を8月5日（土）に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、小学生の親子を始め23名の方にご参加いただきました。

午前中は、普段は入れない長の山湿原の中に入り、湿原の泥炭に触れるとともに、ミミカキグサやタガメなどの生きものの観察を行いました。また、今年度から本事業で試験的に行っている園芸種のサギソウの駆除作業の様子も見学し、長の山湿原の生態系と生物多様性の保全について学習しました。



湿原の生きもの観察 園芸種のサギソウの駆除作業



午後からは巴川で水生生物調査を行いました。みんなで捕まえたヤゴやアブラハヤなどの生きものを教材に、巴川に生息する生きものと周辺環境の相互関係について学習しました。



水生生物調査



巴川の生きもの講座

〔東三河総局 環境保全課 環境保全グループ  
電話 0532-35-6113（ダイヤルイン）〕

「あいちの未来クリエイイト部」は、高校生が専門家等の支援を受けながら、地域の環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する活動で、2017年度から行われています。

今回から3回にわたり、2022年度の参加グループが作成した教材を紹介します。

初回は、「愛知県立愛知総合工科高等学校自然科学部」の皆さんが作成した教材を取り上げます。

愛知総合工科高等学校自然科学部の皆さんは、高校の近隣にある猫ヶ洞池(名古屋千種区)から大量のプラスチックごみが見つかったという報道を見て猫ヶ洞池に興味を持ちました。実際に訪れてみたところ、池のにおいが気になったことから、池の汚染が及ぼす「におい」への影響について調べることにしました。



猫ヶ洞池の調査の様子

池の周りでのにおいの強さと水質の関係について調べた結果、関係性は弱く、水からにおっているわけではないことがわかりました。また、においの種類は、日や地点によって異なることがわかりました。

調査結果を基に作成した教材は、ボードゲーム「アタック行け池!!猫ヶ洞」です。

#### 教材の概要

主な対象	中学生以上
参加人数	3~6名
所要時間	20~40分



#### ボードゲーム「アタック行け池!!猫ヶ洞」

これは猫ヶ洞池を舞台にした陣取りゲームになっていて、においや猫ヶ洞池に関するクイズを通して、普段あまり意識することのない「におい」を中心に、水辺の環境問題などについて知るきっかけを作ります。ゲームの最後には、実際に調査したことでわかった猫ヶ洞池の現状を出題者から伝えることで、学びを深めることができます。



教材を活用する様子

あいちの未来クリエイイト部では他にも様々な教材を作成し、全て貸出しを行っていますので、是非ご活用ください。教材や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



未来クリエイイト部

検索

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208(ダイヤルイン)

## ○ 暑さに強いスプレーギク\*が開発されました

菊は、古くから日本人に親しまれてきた花です。

9月9日は「重陽の節句」といわれ、七夕の節句などとともに、五節句の一つとして、菊の花を用いて不老長寿を願う行事が行われてきました。

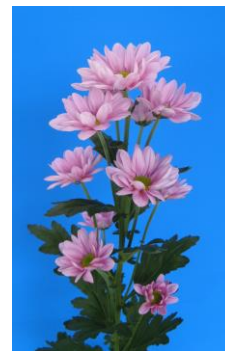
愛知県は、全国一を誇る菊の大産地で、菊の全国出荷量の約1/3を占めています。しかし、近年では地球温暖化の影響等による夏の暑さにより、開花の遅れや生理障害が問題となり、生産者から、厳しい暑さの中でも安定して生産できる新品種が強く求められてきました。そこで、愛知県農業総合試験場は、夏の暑さに強いスプレーギクの新品種の開発を行ってきました。これまで「スプレー愛知夏1号」、「スプレー愛知夏2号」、「スプレー愛知夏3号」を開発してきましたが、今年新たに「スプレー愛知夏4号」を開発し、発表しました。

「スプレー愛知夏4号」は、花卉の色が鮮やかな黄色で、茎が硬く、葉がしっかりとしています。また、夏の暑さによる開花の遅れや生理障害が少なく、7月から9月の高温期にも品質の高い切り花を安定して出荷できます。さらに、これまでより、側枝の数が少なく、栽培管理や収穫がしやすい品種です。今後、出荷を始める予定で、2027年度に年間50万本の出荷を目指しています。

\*スプレーギク：茎から小枝がスプレー状に広がって多数の花を咲かせるタイプのキク。花の形や色にバリエーションがあるため、花束、生け花、テーブルフラワーなど様々な用途で利用されている。



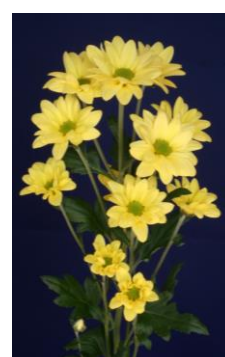
「スプレー愛知夏1号」(黄)



「スプレー愛知夏2号」(ピンク)



「スプレー愛知夏3号」(白)



「スプレー愛知夏4号」(黄)

愛知県気候変動適応計画では、地球温暖化等に対応する農林・水産技術の開発の取り組み指標として2025年度までに、15技術の開発を目指しています。今後もこのような技術の開発が期待されます。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/nogyo-keiei-kiku2023.html>)



スプレー愛知夏4号

検索

環境調査センター 企画情報部  
愛知県気候変動適応センター  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
2023年9月4日発行(第328号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

### 編集後記

まだ暑さは続っていますが、立秋も過ぎて暦の上では秋です。秋の七草といわれるのは萩、尾花、葛(くず)、撫子(なでしこ)、女郎花(おみなえし)、桔梗、藤袴ですが、中には野生で数を減らし、絶滅危惧種になっているものもあります。昔から続く日本の秋の風情をいつまでも楽しむことが出来るように身近な自然環境を守っていききたいですね。(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

